

## 第35回 通常全体協議会 報告書

日 時	平成30年 5月30日 (水) 13:30~16:00
場 所	大阪市淀川区宮原4丁目2番1号 メルパルク大阪 5階 コムナーレ
出席会員数	出席 会 員 18社 ・ 24名 (会員、役員のみ) 委任状提出会員 10社 計 28社 (出席率100.0%) 支 部 会 員 数 28社

### 1. 開会

司会者より平成30年度表彰式並びに全体協議会開会の挨拶が行われた。

### 2. 表彰式

全体協議会の議事に先立ち、上水道部会長として本部・支部の活動に功労のあった尾藤氏に、関西支部表彰に関する内規に基づき、北支部長から功労賞の表彰が行なわれ、尾藤氏からの謝辞が述べられた。



功労賞表彰

尾藤宜伸(中日本建設コンサルタント株式会社 取締役 常務執行役員)

### 3. 全体協議会成立報告

全体協議会の成立について、出席会員数は委任状を含み28社であり、支部会員全社の出席を得ており、支部運営規則25条により全体協議会は成立しているとの報告が司会者からあった。

### 4. 支部長挨拶

全体協議会の開会にあたって、北支部長が挨拶を行った。

多用中にもかかわらず第35回通常全体協議会に多数の皆さんに出席していただいたことと、協会活動に日頃からご支援ご理解いただいたことへのお礼の挨拶のあと、上下水道を取り巻く外部環境の大きな変化が進み、新たな課題が認められる中、水コン協は一般社団法人から公益社団法人に移行し、時代の要請への対応を更に強化していく考えを示した。

本日の全体協議会の内容は、平成29年度の事業レビュー、平成30年度の事業計画などについて報告するもので、限られた時間内ではあるが、積極的な審議により、有意義な時間にしたいとの希望を述べた。



### 5. 議長選出

司会者より、支部運営規則第15条において、支部長は全体協議会の議長になると定められているとの報告があり、北支部長が議長席に着き、議事に入った。

### 6. 議事録署名人選出

北支部長が議長となり、支部運営規則第27条に基づく本全体協議会の議事録署名人に次の2名の幹事を指名した。

幹事 田中 亮 (株式会社 N J S 西部支社 取締役支社長)

幹事 依藤 弘志 (株式会社 ニュージェック 品質管理グループ  
グループマネジャー)

## 7. 議 事

### (1) 第1号議案 平成29年度事業報告

議案に基づき、北支部長が「平成29年度事業報告」を行い、依藤副支部長が「平成29年度一般会務報告」として、①会員の動き、②会議、③事業、④PR活動、⑤発注者との意見交換活動結果、⑥関西支部及び本部活動結果一覧について報告を行った。

続いて、「部会・委員会報告」として各部会・委員会の活動について、議案に沿って、各部会長、委員長、委員が、①総務部会・委員会の報告、②広報部会・(本部)水坤編集部会の報告、③倫理部会・



委員会の報告、④上水道部会・委員会の報告、⑤下水道部会・委員会の報告、⑥技術部会・技術・研修委員会の報告、⑦対外活動部会・委員会の報告、⑧災害時支援部会・委員会、⑨J S協議特別部会の報告、⑩受託調査研究委員会の報告を行った。

### (2) 第2号議案 平成29年度決算報告

議案に沿って、国宗前事務長が「平成29年度決算報告」として平成29年度の決算について、「決算概要」、「決算総括」、「財産目録」及び「会計検査」の報告を行った。報告の要旨は次のとおり。

#### ① 収入

- ・会費収入は4月に1社入会となり決算額は予算と同額で前年度実績より約22万円の増となった。
- ・本部交付金は本来の交付金約60万円と社会貢献事業支援金の約2千円が助成され約60万円であった。
- ・その他収入の雑収入は全体協議会、下水道懇談会などの懇親会々費と利息を含み約31万円で、実質収入合計は予算に対して約21万円増の約632万円となった。

#### ② 支出

- ・育成事業では、技術士試験対策講習会と関水コン技術講座で収支ゼロであ

るが、本部提案型講習会が好評で参加者が多く、資料代等で約4万円の赤字となった。

- ・普及啓発ではホームページの委託費が約9万円減となり、約9万円の予算余りとなった。
- ・災害時支援で事務所に防災用品を揃えたため約4万円の赤字となり、公益事業全体では、約1万円の予算余りとなった。
- ・資質向上では、施設見学会が遠方のため約6万円の赤字で、コンプライアンス講習会の講師を弁護士に依頼し約1万円の赤字料となり、合計で約7万円の赤字となった。
- ・要望活動では、2府4県意見交換活動の「要望と提案」資料コピー費用を確保したが約6万円の予算余りとなり、下水道懇談会の約2万円の赤字であったため合計で約4万円の予算余りとなった。
- ・厚生活動は、新たな試みで女性懇談会を開催したため、18万円の赤字となり、共益事業全体では、約21万円の赤字となった。
- ・事務局管理費はほぼ予算どおりで、全体協議会で約1万円の予算余り、運営委員会で約10万円の赤字となり、法人会計全体では、約9万円の赤字となった。
- ・以上より、平成29年度実質支出合計は予算に対して約29万円赤字の約660万円となった。

### ③ 決算のまとめ

- ・収入約632万円に対して支出は約660万円となり、約28万円の赤字となった。

北支部長より、国宗前事務長退任の報告と8年間の功労への謝辞が述べられ、国宗前事務長より退任の挨拶があった。

北支部長より、新たに着任する高橋新事務長の紹介があり、高橋新事務長より新任の挨拶があった。

議長が第1号議案と第2号議案を合わせて採決し、異議なく承認された。

### (3) 公益社団法人への移行について

北支部長より、協会の公益社団法人への正式移行について、『公益社団法人への移行のお知らせ』に沿って、これまでの経緯及び協会活動の基本方針や移行のメリットについて説明を行った。

#### (4) 第3号議案 支部運営規則・細則・内規の一部改正について

依藤総務部会長より、人材確保特別部会の新設にともなう支部運営細則附則第1項の改正、及び人材確保特別部会内規の新設、並びに部会員公募に関する内規第2条第1項の改正について、2月15日開催の第325回運営委員会において審議し承認され、支部運営細則第1条の改正について、4月19日開催の第326回運営委委員会において審議し承認されたことが報告され、支部運営規則第1条の改正については採決し、異議なく承認された。

#### (5) 第4号議案 第18期役員選挙結果報告及び役員互選報告

依藤総務部会長より3月9日、関水コン事務局での役員選挙開票結果をもとに、第18期の新役員が以下の13社に決定したことが報告された。

①「株式会社 NJS 西部支社」 ②「オリジナル設計株式会社 西日本支社」 ③「株式会社 極東技工コンサルタント」 ④「株式会社 三水コンサルタント」 ⑤「株式会社 昭和設計」 ⑥「株式会社 東京設計事務所 関西支社」 ⑦「中日本建設コンサルタント株式会社 大阪支社」 ⑧「株式会社 西日本技術コンサルタント」 ⑨「株式会社 日水コン 大阪支所」 ⑩「日本技術サービス株式会社」 ⑪「日本水工設計株式会社 大阪支社」 ⑫「株式会社 ニュージェック」 ⑬「パシフィックコンサルタンツ株式会社 大阪本社」

続いて、司会者から、新役員による互選の結果、北支部長、田中副支部長、滝澤副支部長、依藤副支部長及び9名の幹事の体制が決定したことの報告を行った。

また、運営委委員会において、支部運営規則第20条に則り、顧問の選任を行い、前副支部長で株式会社日水コン大阪支所審議役の井本敏様に委嘱することを報告した。

役員変更となる中日本建設コンサルタント株式会社の梶井幹事、株式会社西日本技術コンサルタントの中尾幹事からの挨拶があった。

新役員を代表して、北支部長が、「第17期から役員企業に変更はないが、新たに二人の新幹事を迎えて、これまでの体制をパワーアップして諸課題に取り組んでしっかりと成果を出し、皆さまのお役に立つとともに協会のプレゼンス向上につなげて参りたい。」旨の挨拶を行った。

## (6) 第5号議案 平成30年度事業計画及び予算

### 1) 平成30年度事業計画

北支部長から、平成30年度事業計画について議案書に沿って方針趣旨説明を行い、会員各社への一層の理解と支援を求めた。



### 2) 平成30年度支部活動計画

続いて、滝澤副支部長が平成30年度支部活動計画を説明した。説明の主旨は次のとおり。

・公益事業として『育成』『普及啓発』『災害時支援』の3事業を推進する。

① 育成－講習会（公開型）：例年どおり、上下水道に関わる各種講習会の開催や、地方公共団体からの要請に応じた講師派遣を予定している。

② 普及啓発－社会貢献活動：ホームページの充実や、協会誌「水坤」（夏号・新春号）の配布、水質保全における上下水道の整備効果の普及啓発イベントを開催して知名度向上を図る。

③ 災害時支援：災害復旧に貢献できるよう、連絡会議への出席や、講習会及び訓練の実施など、支援体制の充実を図る。

・会員各社に直接的に役立つことに配慮し、共益事業として『資質向上』『要望活動』『厚生活動』の3事業に取り組む。

① 資質向上：本部と共催で「倫理綱領 行動規範」の説明会やコンプライアンス研修会を開催する。

② 要望活動：関係官公庁との意見交換などの要望活動や名簿等配布のPR活動を行う。

③ 厚生活動：人材確保のための懇談会などの厚生活動を実施する。

・会議・委員会については、10部会及び運営委員会を効率的に機能させ、支部活動のかじ取りを行い、各種事業の推進を図る。

### 3) 平成30年度予算

続いて、高橋新事務長が平成30年度予算(案)について説明を行った。説明の要旨は次のとおり。

#### ① 収入

・会費収入は、平成29年度実績約517万円より約8万円減の約510万円と見込む。

・その他収入は、ボウリング大会の休止により、平成29年度実績約54万

円より約10万円減の44万円と見込む。

- ・交付金は昨年度実績と同等の約60万円とする。
- ・単年度収入を約614万円と見込む。これは平成29年度実績約632万円に対して約17万円減となる。

#### ② 支出

- ・育成、普及啓発等の公益事業への支出は、平成29年度実績より約2万円増の約88万円の計画とする。
- ・資質向上、要望活動、厚生活動の共益事業への支出は、施設見学会及びボウリング大会の休止による減額を含み、平成29年度実績より約28万円減の99万円の計画とする。
- ・法人会計支出は、事務局管理費の大幅な減額があり、平成29年度実績約446万円から約149万円減の約297万円の計画とする。
- ・平成30年度支出合計を平成29年度実績約660万円より約175万円減の約484万円の計画とする。

#### ③まとめ

- ・単年度収入予算約614万円に対し、支出予算は約484万円となり、約130万円の黒字予算とした。

#### 4) 役員・部会員等構成

北支部長が、議案の役員・部会員等構成に沿って、平成30年度の支部体制及び10の部会並びに本部理事、本部委員会、部会、本部小委員会の活動体制について説明した。

議長が第5号議案について採決し、異議なく承認された。

### 8. 議長降壇挨拶

北支部長が全体協議会議事進行への協力に対するお礼を述べ、降壇した。

### 9. 閉会

最後に、司会者が閉会の宣言を行い、懇親会の案内をして、第35回通常全体協議会は滞りなく終了した。

## 10. 懇親会

メルパルク大阪 5階 ル・マノワール (16:10~17:40)

来賓挨拶・乾杯  
水コン協本部 尾崎専務理事



懇親会参加 43名の皆さん



井本顧問による中締め